

No.03 名前 _____

今日のルール＆コツ

同符号：共通の符号をつけて、絶対値をたす。
異符号：絶対値の大きい方の符号をつけて、差を出す。

よくあるミス注意報

× $(-3) + (-2) = +5 \rightarrow \bigcirc -5$
「負＋負」は負のまま。符号と絶対値を分けて考える。

ステップ1 見る | 完全見本

例① $(-3) + (-2) \leftarrow$ 同符号（どちらも－）
 $= - (3+2) \leftarrow$ 符号は－、絶対値は和
 $= -5$

例② $(-7) + (+4) \leftarrow$ 異符号（－と＋）
 $= - (7-4) \leftarrow$ 7の方が大きいので－
 $= -3 \leftarrow$ 絶対値の差は3

途中式の型：符号を決める $\rightarrow$ 和・差を計算する。
絶対値が同じ異符号の2数をたすと、答えは0。

ステップ2 なぞる

① $(-4) + (-3)$
 $= [\quad] (4+3)$
 $= [\quad]$

② $(-8) + (+5)$
 $= [\quad] (8-5)$
 $= [\quad]$

基礎だけ確認問題

① $(+2) + (+3) = [\quad]$

② $(-1) + (-2) = [\quad]$

③ $(+5) + (-2) = [\quad]$

④ $(-6) + (+6) = [\quad]$

最初に、たす2つの数の符号に注目しよう。

ステップ3 自力演習 | 10問

枠の中に、途中式と答えを書こう。

① $(+4) + (+5)$

☐ 符号チェック

② $(-6) + (-3)$

☐ 符号チェック

③ $(+7) + (-4)$

☐ 符号チェック

④ $(-8) + (+3)$

☐ 符号チェック

⑤ $(-5) + (+5)$

☐ 符号チェック

⑥ $(-2) + (-7)$

☐ 符号チェック

⑦ $(+6) + (-9)$

☐ 符号チェック

⑧ $(-4) + (+9)$

☐ 符号チェック

⑨ $(+8) + (+2)$

☐ 符号チェック

⑩ $(+3) + (-3)$

☐ 符号チェック

チャレンジ

$(-1.5) + (+\frac{1}{2})$ を計算しよう。

分数を小数になおしてから、符号と絶対値を考えよう。

途中式・答え： _____

見直し：☐ 同符号・異符号 ☐ 和・差 ☐ 答えの符号

答え合わせのポイント

同符号なら和、異符号なら差。
答えの符号と、絶対値の計算をそれぞれ確認する。

ステップ2 なぞる

- ① 空欄： [-]、 [-7]
(-4) + (-3)
=- (4+3)
=-7
- ② 空欄： [-]、 [-3]
(-8) + (+5)
=- (8-5)
=-3
- ① 共通の符号-をつけ、絶対値4と3をたす。
② 絶対値は8 > 5なので負。絶対値の差は3。

基礎だけ確認問題

- ① (+2) + (+3)
=+ (2+3)
=+5 (5)
- ② (-1) + (-2)
=- (1+2)
=-3
- ③ (+5) + (-2)
=+ (5-2)
=+3 (3)
- ④ (-6) + (+6)
=6-6
=0

正の数の+は省略できる。0には符号をつけない。

自力① 同符号

(+4) + (+5)
=+ (4+5)
=+9 (9)

自力③ 異符号

(+7) + (-4)
=+ (7-4)
=+3 (3)

自力⑤ 和が0

(-5) + (+5)
=5-5
=0

自力⑦ 異符号

(+6) + (-9)
=- (9-6)
=-3

自力⑨ 同符号

(+8) + (+2)
=+ (8+2)
=+10 (10)

自力② 同符号

(-6) + (-3)
=- (6+3)
=-9

自力④ 異符号

(-8) + (+3)
=- (8-3)
=-5

自力⑥ 同符号

(-2) + (-7)
=- (2+7)
=-9

自力⑧ 異符号

(-4) + (+9)
=+ (9-4)
=+5 (5)

自力⑩ 和が0

(+3) + (-3)
=3-3
=0

チャレンジ 小数・分数のたし算

(-1.5) + (+ $\frac{1}{2}$)
= (-1.5) + (+0.5)
=- (1.5-0.5)
=-1
 $\frac{1}{2}$ =0.5。絶対値は1.5 > 0.5なので、答えは負。